

科目名	照明基礎実習A		担当講師	鈴木雅光	
講師実務経験	イベント制作会社勤務				
対象学年	1 学年	対象コース	ライティングコース		授業形態
期 間	前期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間	270 分
修 得 目 標	舞台照明の基礎知識及び仕込の工程を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月17日	授業ガイダンス、照明実習授業の安全管理及び照明機材・ケーブルについて			
2	4月24日	ユニット・卓周辺及び回路(フロア・サス)について			
3	5月8日	照明卓・パッチ盤の使い方			
4	5月15日	仕込(吊仕込)及びシュートについて			
5	5月22日	仕込(フロア・前明かり)及びシュート及び導線の確保について			
6	5月29日	仮アタリとフォーカシング→シュート			
7	6月5日	トラブルシューティングの対応について			
8	6月12日	仕込から撤去の一連の流れを作業①			
9	6月19日	仕込から撤去の一連の流れを作業②			
10	7月3日	音楽に合わせて実際にオペレートを行う①			
11	7月10日	音楽に合わせて実際にオペレートを行う②			
12	8月21日	前期復習、実技試験対策			
13	8月28日	実技試験、筆記試験対策			
14					
15					
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	78時間中 27時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	就職ガイダンス		担当講師	一岡 永	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	1 学年	対象コース	就職対象コース		授業形態
期 間	前期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	就職活動に向けた心得や、応募準備を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月18日	授業ガイダンス 就職活動に対する心構え/業界職の概要			
2	4月25日	映像関連職の紹介			
3	5月9日	舞台関連職の紹介			
4	5月16日	社会人と労働について			
5	5月23日	社会人教育①			
6	5月30日	自己PRについて～自己分析			
7	6月6日	自己PRの書き方			
8	6月13日	自己PR作成			
9	6月20日	求人票の見方とポイント			
10	7月4日	受験企業選定に向けた優先順位について			
11	7月11日	就職活動計画について/就職希望調査書			
12	7月18日	自由応募と推薦求人について			
13	8月22日	就職活動の具体的な流れ			
14	8月29日	社会人教育②			
15					
評価方法	3分の2以上の出席で修得済評価				
評価	評価 修得済				
テキスト	就職便覧、プリント配布				
注意事項	14時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)				

科目名	時事研究		担当講師	山田 佳晴	
講師実務経験	テレビ・放送関連会社勤務				
対象学年	1 学年	対象コース	スタッフ関連科目受講者		授業形態
期 間	前期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	ニュース・時事問題を読み解き、日常生活の思考・行動に活用する力を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月18日	授業ガイダンス、時事研究について			
2	4月25日	直近のニュースについて①			
3	5月9日	直近のニュースについて②			
4	5月16日	直近のニュースについて③			
5	5月23日	直近のニュースについて④			
6	5月30日	直近のニュースについて⑤			
7	6月6日	直近のニュースについて⑥			
8	6月13日	直近のニュースについて⑦			
9	6月20日	直近のニュースについて⑧			
10	7月4日	直近のニュースについて⑨			
11	7月11日	直近のニュースについて⑩			
12	7月18日	直近のニュースについて⑪			
13	8月22日	直近のニュースについて⑫			
14	8月29日	講義振り返り、試験対策			
15					
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	無し				
注意事項	14時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	電気基礎		担当講師	鈴木 雅光	
講師実務経験	イベント制作会社勤務				
対象学年	1 学年	対象コース	共通		授業形態 講義
期 間	前期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間 45 分	
修 得 目 標	電気の基礎及び電気を安全に取扱するための知識を習得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月18日	授業ガイダンス			
2	4月25日	基礎的な電気について 電流・電圧・抵抗			
3	5月9日	直流と交流とオームの法則について			
4	5月16日	直列・並列及び合成抵抗 について			
5	5月23日	単相2線式、周波数、実効値について			
6	5月30日	電気容量計算、ジュールの法則について			
7	6月6日	リアクタンス、インピーダンスについて			
8	6月13日	有効電力、無効電力、皮相電力。 力率 単相交流と三相交流について			
9	6月20日	単相交流と三相交流、スター結線、デルタ結線について			
10	7月4日	電圧降下・電力損失について			
11	7月11日	ケーブルの種類 、電線の許容電流について			
12	7月18日	電気の安全な取り扱い、発電機からの電源について			
13	8月22日	複線図について			
14	8月29日	定期試験対策			
15					
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	14時間中 5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	照明基礎実習B		担当講師	鈴木 雅光	
講師実務経験	イベント制作会社勤務				
対象学年	1 学年	対象コース	ライティングコース		授業形態
期 間	前期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間	
					135 分
修 得 目 標	照明機材の用途及び光と色の組み合わせについて習得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月18日	授業ガイダンス。フレネルレンズ、平凸レンズについて(用途)			
2	4月25日	PARライトについて(用途)			
3	5月9日	ソース4・ITOについて(用途)			
4	5月16日	LHQ及びストロボライトについて(用途)、ピンスポットについて			
5	5月23日	順光・逆光・側光・TOP・あおりについて			
6	5月30日	光と色彩について①			
7	6月6日	光と色彩について②			
8	6月13日	舞台照明の作り方①			
9	6月20日	舞台照明の作り方②			
10	7月4日	舞台照明の作り方③			
11	7月11日	色の組み合わせ①			
12	7月18日	色の組み合わせ②			
13	8月22日	前期復習、実技試験対策			
14	8月29日	実技試験、筆記試験対策			
15					
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	42時間中 15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	機材概論		担当講師	鈴木 雅光	
講師実務経験	イベント制作会社勤務				
対象学年	1 学年	対象コース	ライティングコース		授業形態
期 間	前期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	アナログ照明の種類・用途及びメンテナンスを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月19日	授業ガイダンス。ITO、LHQ、平凸レンズ、フレネルレンズについて、ランプの交換方法等			
2	5月10日	ソース4、PARライト、ピンスポットについて、ランプの交換方法等			
3	5月17日	エフェクトマシン、スタンド、アーム、ベース、ハンガーについて			
4	5月24日	スモークマシン、カラーフィルター、GOBOの種類等について			
5	5月31日	ケーブル・コネクタの種類・及び容量について、照明用語、舞台用語			
6	6月7日	仕込図の書き方①			
7	6月14日	仕込図の書き方②			
8	6月21日	テスター及び使用工具の種類と使用方法			
9	7月5日	ケーブルのメンテナンス			
10	7月12日	ケーブルの製作			
11	7月19日	DMXケーブルの製作(3P)			
12	8月23日	DMXケーブルの製作(5P)			
13	8月30日	実技試験。筆記試験対策			
14					
15					
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	39時間中 14時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	TV照明基礎		担当講師	竹平 耕一	
講師実務経験	放送局関連会社勤務、照明デザイナー				
対象学年	1 学年	対象コース	ライティングコース		授業形態
期 間	前期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	テレビ照明の基礎知識およびスタジオ・現場の流れなどについて修得する				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月19日	授業ガイダンス / 舞台とテレビの違い、舞台照明とテレビ照明の違い			
2	5月10日	テレビ照明の基礎知識			
3	5月17日	スタジオの構造と設備 / 副調整室の設備			
4	5月24日	調光システムの基礎 / 調光卓について			
5	5月31日	人物の基本的なライティング I / 明りの役割、光の方向について			
6	6月7日	人物の基本的なライティング II / 光の方向と配分、光の質について			
7	6月14日	テレビ照明の基礎知識 I / フラットなライティング(1ショット)について			
8	6月21日	テレビ照明の基礎知識 II / スタジオ情報・報道番組など(2ショット以上)			
9	7月5日	テレビ照明の基礎知識 III / 音楽番組など			
10	7月12日	テレビ照明の基礎知識 IV / ドラマ番組など			
11	7月19日	テレビ照明の基礎知識 V / ロケーション・取材など			
12	8月23日	テレビ照明の基礎知識 VI / 各種中継番組など			
13	8月30日	前期の総括および試験対策			
14					
15					
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	39時間中 14時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	安全概論		担当講師	久本 晃三	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	1 学年	対象コース	共通		授業形態
期 間	前期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	日本舞台技術安全協会の定める安全基準について理解し、様々な作業に潜む危険を予測できるように安全への意識を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月20日	授業ガイダンス			
2	5月11日	安全衛生管理の基本について			
3	5月18日	現場における、事件事例の紹介について			
4	5月25日	ひやり、ハット事例について			
5	6月1日	作業に適した服装(靴、グローブ、衣服等)について			
6	6月8日	革手袋長所、短所、ヘルメット材質、寿命について			
7	6月15日	ヘルメットのかぶり方、部分名称、チェック項目について			
8	6月22日	ラッシングベルト、機材の運搬(台車)について			
9	7月6日	台車、安全帯について			
10	7月13日	健康管理と日常生活について			
11	7月20日	精神的な注意事項他について			
12	8月24日	始業時の打ち合わせ他について			
13	8月31日	落下、飛来落下、転倒、倒壊など危険を伴う作業他、定期試験対策			
14					
15					
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	13時間中 5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ペン字講座		担当講師	西山 香	
講師実務経験	書道教室講師				
対象学年	1 学年	対象コース	スタッフ関連科目受講者		授業形態
期 間	前期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	きれいで美しい「ひらがな」「かたかな」「漢字」の書き方を修得し、「履歴書」の作成方法を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月20日	「ひらがな」の書き方の練習			
2	5月11日	「履歴書下書」の作成			
3	5月18日	「カタカナ」の書き方の練習			
4	5月25日	「漢字」(横書・熟語)の書き方の練習			
5	6月1日	「横書文章」の書き方の練習			
6	6月8日	「住所」の書き方の練習			
7	6月15日	「常用漢字」の書き方の練習①			
8	6月22日	「常用漢字」の書き方の練習②			
9	7月6日	筆記試験			
10	7月13日	履歴書作成①			
11	7月20日	履歴書作成②			
12	8月24日	履歴書作成③			
13	8月31日	履歴書作成④			
14					
15					
評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	13時間中5時間の欠席で「修得済」不可=進級ができません(留年となります)				

科目名	舞台論		担当講師	竹平 耕一	
講師実務経験	放送局関連会社勤務、照明デザイナー				
対象学年	1 学年	対象コース	スタッフ系コース		講義
期 間	前期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間	45 分
修 得 目 標	劇場の歴史や舞台の基本的な知識および設備について修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月20日	授業ガイダンス、			
2	5月11日	西洋の上演芸術や劇場史について			
3	5月18日	日本の上演芸術や劇場史について			
4	5月25日	舞台の基本、平面・断面・寸法について			
5	6月1日	幕類用吊物設備について			
6	6月8日	照明用吊物設備について			
7	6月15日	大道具用および音響反射板・スクリーンなどの吊物設備について			
8	6月22日	舞台の床機構について			
9	7月6日	舞台の照明設備について			
10	7月13日	幕類・照明に関する専門用語について			
11	7月20日	公演・舞台、機構・道具に関する専門用語について			
12	8月24日	スタッフの種類と役割について/安全管理および労働災害防止について			
13	8月31日	前期の総括および試験対策			
14					
15					
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	13時間中 5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	照明工学		担当講師	竹平 耕一	
講師実務経験	放送局関連会社勤務、照明デザイナー				
対象学年	1 学年	対象コース	ライティングコース		講義
期 間	前期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間	45 分
修 得 目 標	光の基礎知識や照明機器等について修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月20日	授業ガイダンス、照明家の仕事について			
2	5月11日	光の知識と眼とカメラの構造について			
3	5月18日	物を見るとききの生理的な働きについて			
4	5月25日	光の単位について			
5	6月1日	照明の演出・美的効果について			
6	6月8日	モノトーン・立体感・遠近感の効果について			
7	6月15日	色彩による効果、色彩の対比、白と黒との効果について			
8	6月22日	色温度について			
9	7月6日	照明器具の種類と構造について			
10	7月13日	電球の種類と構造・特性・色調などについて			
11	7月20日	調光機器の歴史や操作卓・調光器について			
12	8月24日	カラーフィルターの歴史と種類、色温度変換・ディフージョン・他のフィルターについて			
13	8月31日	電源の種類と概要、仮設電源と注意点について / 前期の総括および試験対策			
14					
15					
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	13 時間中 5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	カラーコーディネート論	担当講師	木村 真祐美
講師実務経験	カラーコーディネーター、カラーセラピスト		
対象学年	1 学年	対象コース	ライティングコース
期 間	前期	総授業回数	13 回
			1回あたりの授業時間
修 得 目 標	色彩の基礎知識、色の持つ効果を知り、色に関する感性を磨き色彩活用できることを修得する。		
回数	日程	【授 業 計 画】	
1	4月20日	授業ガイダンス	
2	5月11日	色の働きと色の見える仕組みについて	
3	5月18日	色彩基礎知識について	
4	5月25日	色の感情作用、知覚効果について	
5	6月1日	パーソナルカラー(似合う色)について①	
6	6月8日	パーソナルカラー(似合う色)について②	
7	6月15日	色とイメージの関係について①	
8	6月22日	色とイメージの関係について②	
9	7月6日	カラーセラピー(色彩心理)について①	
10	7月13日	カラーセラピー(色彩心理)について②	
11	7月20日	色彩調和・配色技法について	
12	8月24日	配色演習	
13	8月31日	定期試験対策	
14			
15			
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A		
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)		
テキスト			
注意事項	26時間中 9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)		

科目名	イベント概論		担当講師	横山 聡史	
講師実務経験	広告代理店～WEB企画制作会社設立～フリーのディレクター／プロデューサー				
対象学年	1 学年	対象コース	サウンド・ステージコース／ライティングコース	授業形態	講義
期 間	前期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間	90 分
修 得 目 標	イベントの知識とスタッフの役割、企画・運営等の基礎をを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月21日	授業概要の説明。 目標設定と様々なものに関心や興味を持つことの大切さを学ぶ。毎週ニュース発表必須。			
2	5月12日	イベントとは何か。 イベントの定義と一般的な運営組織図、企画の重要性を学ぶ。			
3	5月19日	イベントに関わる様々なセクションやスタッフの役割について学ぶ。 1回目(ディレクター)			
4	5月26日	イベントに関わる様々なセクションやスタッフの役割について学ぶ。 2回目(PA・レコーディング)			
5	6月2日	イベントに関わる様々なセクションやスタッフの役割について学ぶ。 3回目(照明・映像)			
6	6月9日	イベントに関わる様々なセクションやスタッフの役割について学ぶ 4回目(プロデューサー)			
7	6月16日	イベントに関わる様々なセクションやスタッフの役割について学ぶ 5回目(主催者、後援、協力、協賛)			
8	6月23日	イベントに関わる様々なセクションやスタッフの役割について学ぶ 6回目(MC)			
9	7月7日	イベントに関わる様々なセクションやスタッフの役割について学ぶ 7回目(会場選定の条件、会場との折衝)			
10	7月14日	イベントに関わる様々なセクションやスタッフの役割について学ぶ 8回目(イベントの広報)			
11	7月21日	イベントに関わる様々なセクションやスタッフの役割について学ぶ 9回目(メディアとインターネット、各種SNS)			
12	8月25日	企画の必要性。 どの立場であっても考え、準備する必要性を学ぶ。			
13	9月1日	イベントに関わる心得。 最低限必要な心得、プライオリティを学ぶ。			
14					
15					
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	26時間中 9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	音楽 I		担当講師	鈴木 雅光	
講師実務経験	イベント制作会社勤務				
対象学年	1 学年	対象コース	ライティングコース		講義
期 間	前期	総授業回数	5 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
前期	音楽の基礎を通して、音符・休符・拍子・音楽記号・各楽器・音階・調号を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	7月7日	授業ガイダンス。音楽の3要素、五線・小節線・音部記号・幹音について			
2	7月14日	音符と休符及び付点音符と付点休符。譜面の種類について			
3	7月21日	小節と拍子、拍の強弱・アフタクト・シンコペーションについて			
4	8月25日	音の表現、楽器の大別、合奏形態について			
5	9月1日	定期試験対策			
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	15時間中 6時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	選択 DTM実習		担当講師	作山 厚	
講師実務経験	DTM・ベース講師経験 / 楽曲配信・BGMサイト楽曲提供				
対象学年	1 学年	対象コース	実習選択者		授業形態
期 間	前期	総授業回数	3(2) 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
前期	基本的な打ち込み技術を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月21日 5月12日 5月19日	サンプルファイルを活用したビート制作			
2	5月26日 6月2日 6月9日	ピアノパートとベースの打ち込み			
3	6月16日 6月23日	シンセサイザーVを使用した歌メロ入力			
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	9(6)時間中 4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	PA実習(選択)		担当講師	久本 晃三	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	1 学年	対象コース	共通		授業形態
期 間	前期	総授業回数	3(2) 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
前期	PAという仕事を理解し、マイクケーブル、マイクスタンドの基本的な取り扱いを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月21日 5月12日 5月19日	オリエンテーション、ケーブル巻き			
2	5月26日 6月2日 6月9日	PAセクションの仕事の概要説明、ケーブル巻き、マイク、マイクスタンドの取り扱い			
3	6月16日 6月23日	PAセットを組んで音を出してみる。			
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	9(6)時間中 4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	選択 REC実習		担当講師	金沢琢司	
講師実務経験	レコーディングスタジオ勤務				
対象学年	1 学年	対象コース	実習選択者		授業形態 実習
期間	前期	総授業回数	3(2) 回	1回あたりの授業時間 135 分	
修得目標	レコーディング業界とレコーディングエンジニアという職業を理解し修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月21日 5月12日 5月19日	スタジオワークを理解し、レコーディングエンジニアの職種を理解する。			
2	5月26日 6月2日 6月9日	ブース内(ドラム・ベース・ギター)にマイクセッティングをし録音作業を行う。			
3	6月16日 6月23日	デモ音源を使いトラックダウンを行う。			
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	9(6)時間中 4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	選択 ヴォーカル実習	担当講師	吉田佳代
講師実務経験	シンガーソングライター		
対象学年	1 学年	対象コース	実習選択者
期 間	前期	総授業回数	3(2) 回
			1回あたりの授業時間
			135 分
期	修 得 目 標		
前期	発声法基礎と歌唱法を修得する。		
回数	日程	【授 業 計 画】	
1	4月21日 5月12日 5月19日	発声法基礎(高音域・低音・中音域) 歌唱法(ミックスボイス)	
2	5月26日 6月2日 6月9日	発声法基礎(高音域・低音・中音域) 歌唱法(ビブラート)	
3	6月16日 6月23日	発声法基礎(高音域・低音・中音域・鼻腔共鳴)	
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価		
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)		
テキスト			
注意事項	9(6)時間中 4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)		

科目名	選択 ギター実習		担当講師	川畑統正	
講師実務経験	ギタリスト / ヤマハ認定講師				
対象学年	1 学年	対象コース	実習選択者		授業形態
期 間	前期	総授業回数	3(2) 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	ギター演奏の基本技術と知識の修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月21日 5月12日 5月19日	実習内容について説明、セットアップ、基本エクササイズ			
2	5月26日 6月2日 6月9日	オープンコード、コードの応用、シンプルな課題曲			
3	6月16日 6月23日	ブルースフォームでの様々な演奏スタイル			
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	9(6)時間中 4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	選択 テレビ番組制作	担当講師	田端 優一
講師実務経験	放送局関連会社勤務		
対象学年	1 学年	対象コース	各コース
期 間	前期	総授業回数	3(2) 回
			1回あたりの授業時間
修 得 目 標	番組制作の流れとスタッフの役割を理解し、基礎的知識と技術を修得する。		
回数	日程	【授 業 計 画】	
1	4月21日 5月12日 5月19日	授業ガイダンス～番組制作の現場について	
2	5月26日 6月2日 6月9日	テレビスタジオ、副調整室の仕組みや機材全般の取り扱い方について	
3	6月16日 6月23日	テレビスタジオで番組の収録を行う	
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価		
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)		
テキスト	資料配布		
注意事項	9(6)時間中 4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)		

科目名	選択 ドラム実習		担当講師	岸林大輔	
講師実務経験	演奏家、ヤマハ、三響、ミツノ講師				
対象学年	1 学年	対象コース	実習選択者		授業形態 実習
期 間	前期	総授業回数	3(2) 回	1回あたりの授業時間 135 分	
期	修 得 目 標				
前期	Dr.Set、リズムの基本を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月21日 5月12日 5月19日	Stick Control&Foot リズムスタイル			
2	5月26日 6月2日 6月9日	リズムスタイル#2、Fill-In			
3	6月16日 6月23日	リズムスタイル#2、Fill-In、エチュード演奏、まとめ			
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	9(6)時間中 4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	選択 ベース実習		担当講師	木村圭子	
講師実務経験	ベークシト				
対象学年	1 学年	対象コース	実習選択者		授業形態 実習
期 間	前期	総授業回数	3(2) 回	1回あたりの授業時間 135 分	
期	修 得 目 標				
前期	発声法基礎と歌唱法を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月21日 5月12日 5月19日	発声法基礎(高音域・低音・中音域) 歌唱法(ミックスボイス)			
2	5月26日 6月2日 6月9日	発声法基礎(高音域・低音・中音域) 歌唱法(ビブラート)			
3	6月16日 6月23日	発声法基礎(高音域・低音・中音域・鼻腔共鳴)			
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	9(6)時間中 4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	照明実習(選択)		担当講師	鈴木 雅光	
講師実務経験	イベント制作会社勤務				
対象学年	1 学年	対象コース	共通		授業形態
期 間	前期	総授業回数	3(2) 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
前期	『照明』とは、どのような仕事かを知り、自分が目指す職種と他の職種との関わりを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月21日 5月12日 5月19日	授業ガイダンス。照明という仕事について。音楽と照明について			
2	5月26日 6月2日 6月9日	仕込みからシュートまでについて			
3	6月16日 6月23日	光の演出効果について			
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	9(6)時間中 4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	文書デザイン(1期)		担当講師	熊谷めぐみ	
講師実務経験	ライター				
対象学年	1 学年	対象コース	選択		授業形態
期 間	前期	総授業回数	3(2) 回	1回あたりの授業時間	135 分
修 得 目 標	Word,Excelを中心に PCの初歩的な基本操作を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月21日 5月12日 5月19日	授業ガイダンス PC操作・タイピングの基礎・Wordの基本的な操作			
2	5月26日 6月2日 6月9日	Wordにて、ビジネス文書の形式、文字修飾、表・図形の挿入と編集を学ぶ			
3	6月16日 6月23日	Excelにて、資料の作成や初歩的な関数等について学ぶ			
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	9(6)時間中 4(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				